

富木常忍 (常修院日常)

「つねのぶ」→「じょうにん」
※ 多分

現.
自宅 → 中山法華経寺

法論に勝て Get → 真間弘法寺

※ 勝ち取ったのは
日頂上人とも。

現.
(行基・空海と
関係の深い寺)

1216 - 1299

— 聖人より6才年上。
17年長生き。



六老僧・日頂上人の義理の父
(後に義絶)

有力御家人・千葉氏の
事務官か。

余、た紙や筆を
聖人にたくさん
提供

↓
後に戦病死。
大変。



聖人遺文の収集

もった手紙はほげばて保管
嚴重管理，目録まで作る。



持出禁止

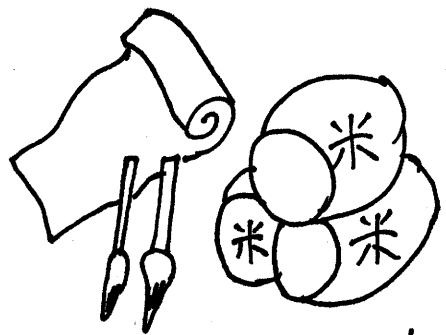
| シフト表 | |
|---------------|---|
| 21:00 - 24:00 | ~ |
| 0:00 - 3:00 | ~ |
| 3:00 - 6:00 | ~ |

宿直まで置いて
警備してた

聖人の心の支え!
何かあったらこの方に連絡!

聖人と富木氏

問註にかけられたが、
聖人のアドバイスで
難無く切り抜けた。



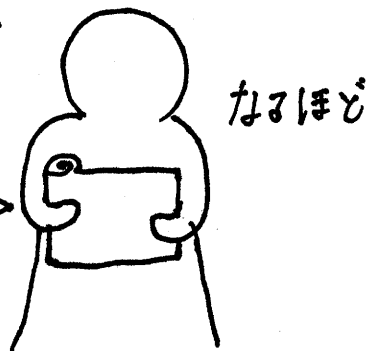
ほんの気持ちです

とにかく聖人のサポートは
欠かさない。
聖人も常に行き先を連絡。

教養高く、漢文も読める

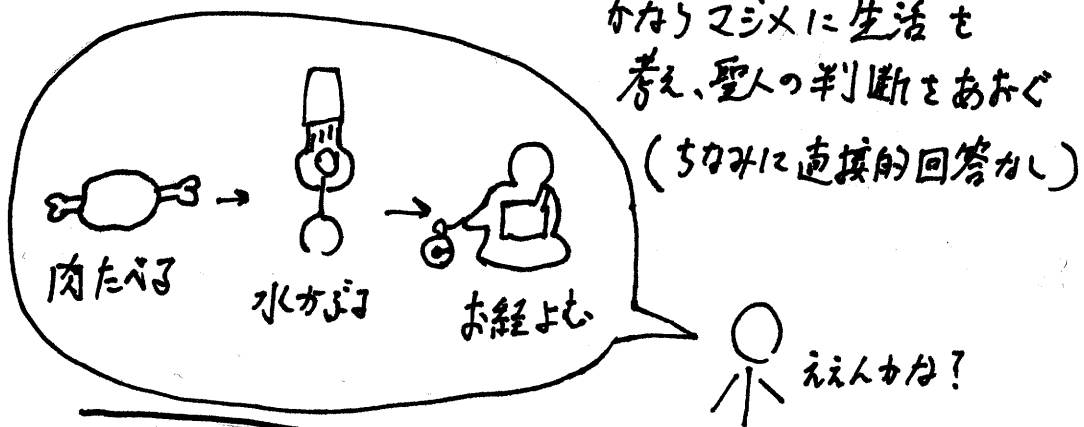
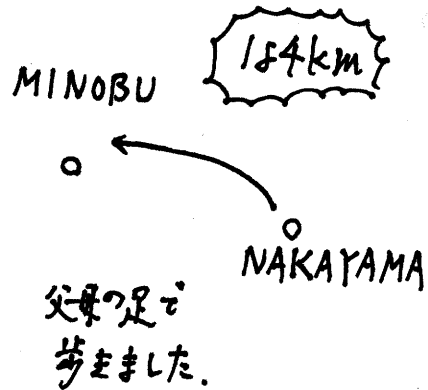
あの観心本尊抄を託している。

今本時
娑婆世界
離三災



漢文の手紙を
もらったのは
7人だけ。

母の死後、聖人に回向を
してもらいたくて身延まで行く
(そしてお経車を忘れる)



かなりマシメに生活も
考え、聖人の判断をあおぐ
(ちなみに直接的回答なし)

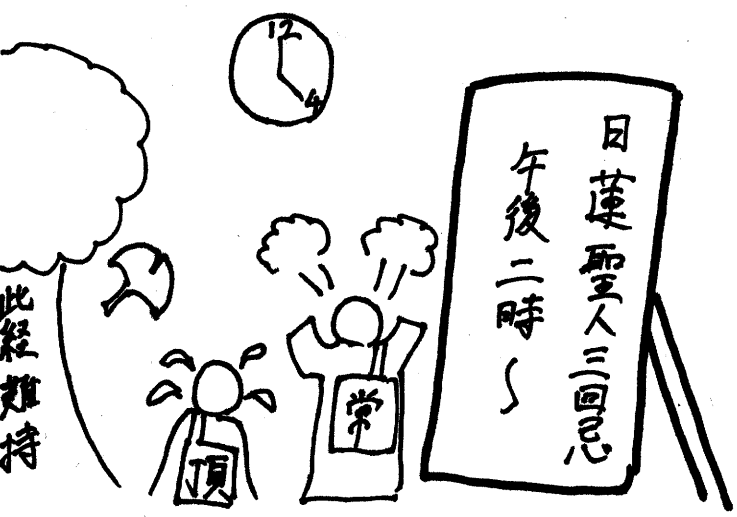
この方のコレクター魂のおかげで
聖人のお声が今も私たちの
元に届いている

宝物なんです



日常上と日頂上の決別

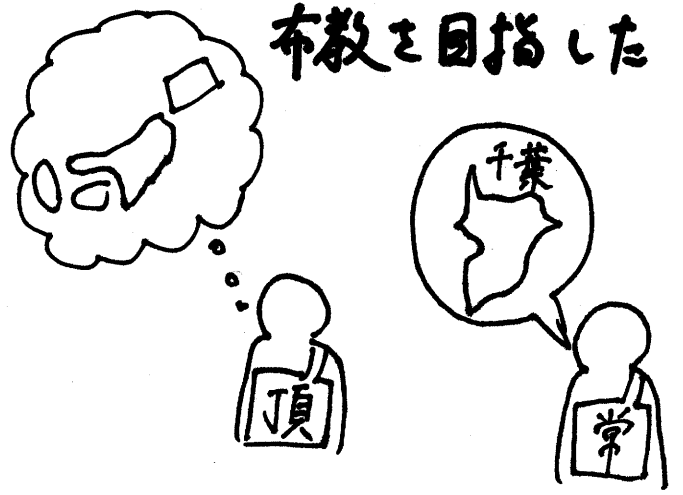
① 日頂上が聖人の
3回忌に遅刻



② 自分の子を日常上の
跡継ぎにしたいと思っ
た人が日頂上人を
おとしめた



③ 日常上は地元の
重視していて、
日頂上はより広い
布教を目指した



幕府に対して、
毅然とした態度も
とらない五老僧に
そもそも失望していた？

